

市民の幸福感の向上をめざして ～Well-Being指標の活用～

2022年12月19日

兵庫県加古川市 企画部政策企画課

課長 車谷 芳秀

兵庫県下最大の一級河川「加古川」が市の中央部を流れる都市

人口：257,812人
世帯：108,795世帯
総面積：138.48 km²
(2022年11月1日時点)



加古川和牛



鶴林寺



高御位山

棋士のまち

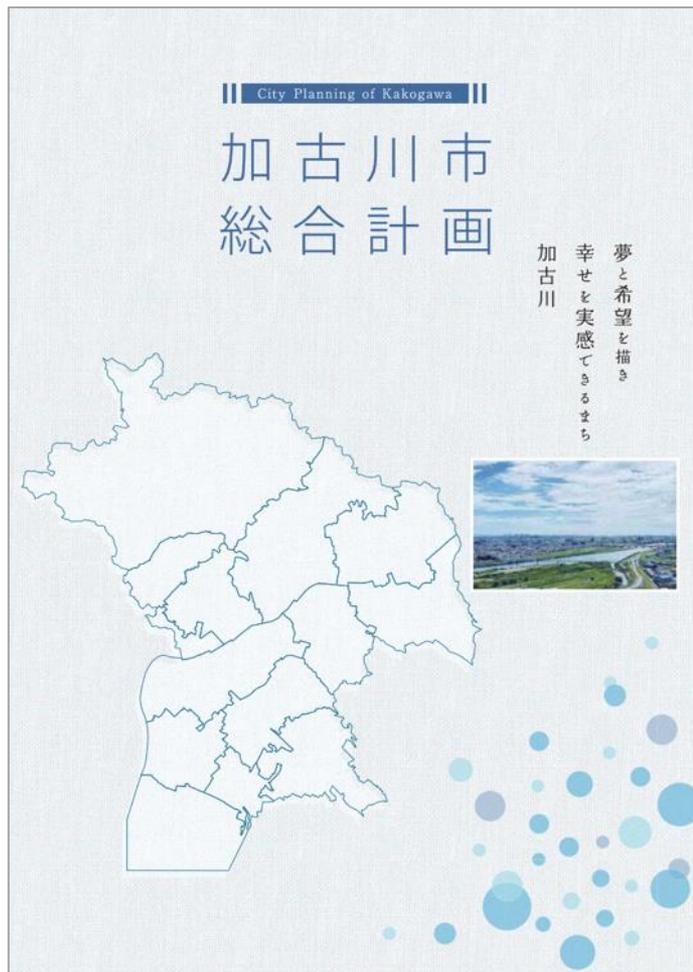


伝統産業の靴下



かこがわ名物 かつめし

■ 将来の都市像：夢と希望を描き 幸せを実感できるまち 加古川

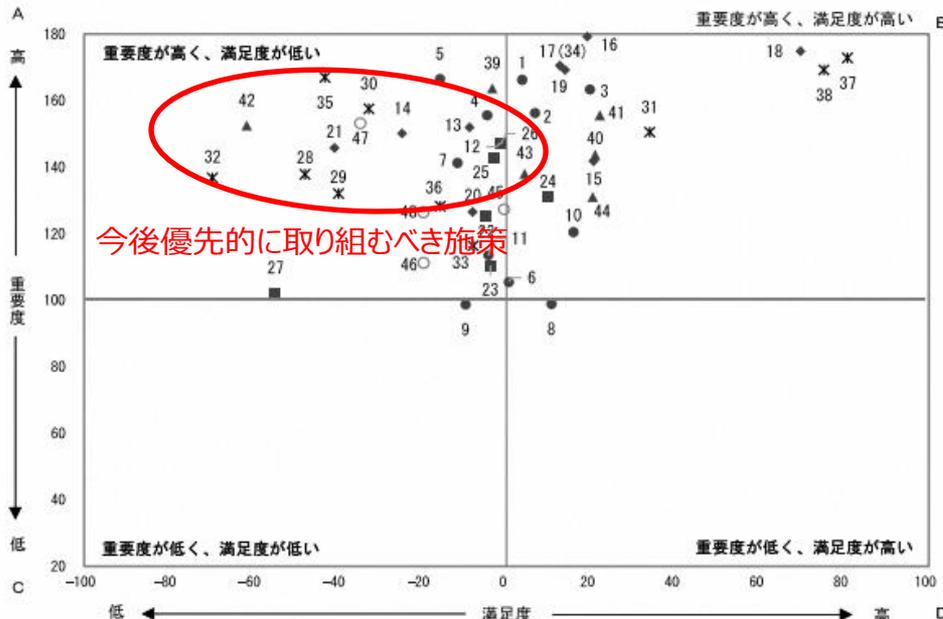


■ 将来の目標人口



■ 平成28年度から毎年度実施

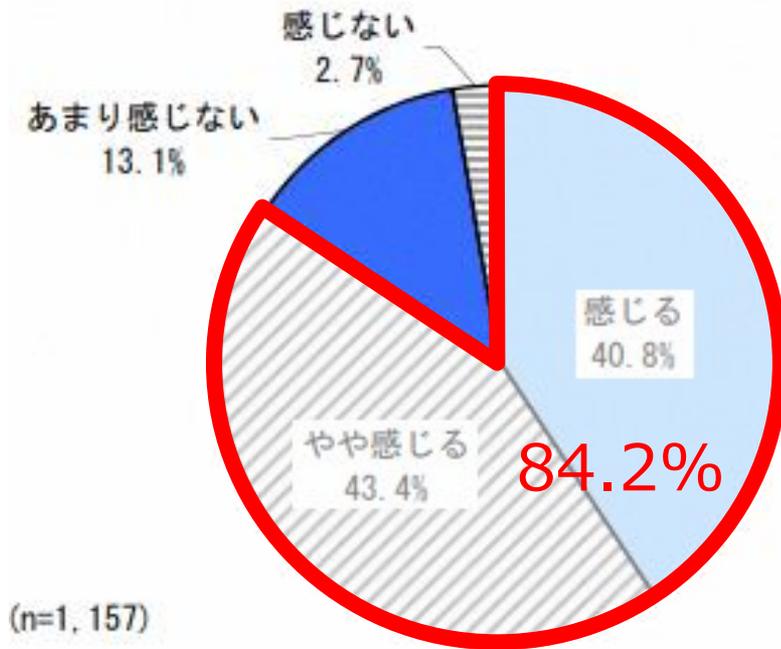
- 市が取り組んでいる施策や今後のまちづくりの方向性について 市民の考えや感じていることなどについてアンケートを実施し その結果をまちづくりに反映
- 毎年度、約50項目の分野について 市民が感じる満足度や重要度を調査 優先順位判断に活用



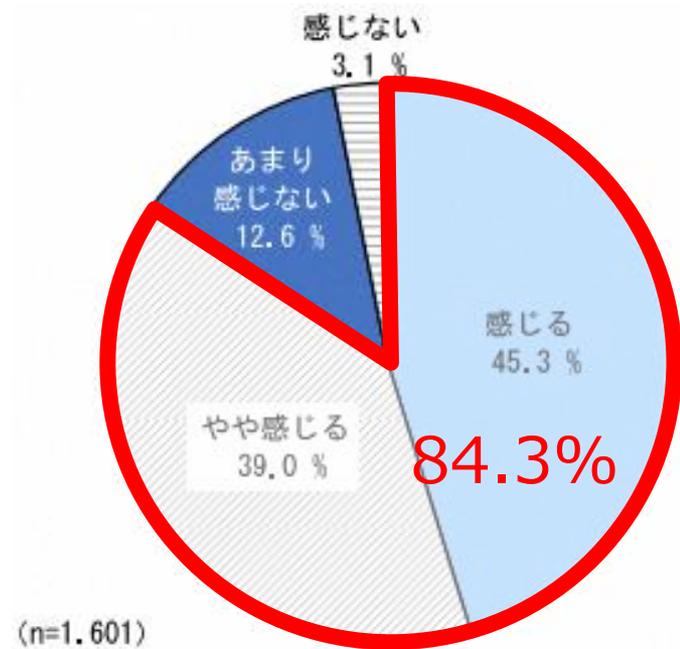
● 心豊かに暮らせるまち	1	(1)結婚・出産・子育てに関する支援	● 快適なまち	28	(1)地域特色を生かした効果的な土地利用
	2	(2)就学前教育・保育の内容		29	(2)加古川駅周辺の都心としての魅力
	3	(3)義務教育の内容		30	(3)幹線道路の整備
	4	(4)特別支援教育の内容		31	(4)鉄道の便利さ
	5	(5)教育を支える体制や学習環境		32	(5)バスの便利さ
	6	(6)生涯学習の機会や環境		33	(6)景観や、まちなみの美しさ
	7	(7)青少年の健全な育成		34	(7)地域の防災体制(再掲)
	8	(8)スポーツ・レクリエーション活動の機会や環境		35	(8)生活に身近な道路の安全性や便利さ
	9	(9)文化・芸術に接する機会		36	(9)良質な住宅供給の促進
	10	(10)人権に関する教育や啓発		37	(10)水道水の供給
	11	(11)男女共同参画の推進		38	(11)下水道の整備
◆ 安心して暮らせるまち	12	(1)地域福祉の推進	▲ うるおいのあるまち	39	(1)大気や水質などの環境対策
	13	(2)障がい者に対する支援		40	(2)地域の自然環境の保全
	14	(3)高齢者に対する支援		41	(3)ごみの減量・不用品のリサイクルの推進
	15	(4)健康の保持・増進		42	(4)ボイ捨てやペットのふん害防止
	16	(5)安心できる医療体制		43	(5)公園・緑地の整備・管理
	17	(6)地域の防災体制		44	(6)まちなみの緑化や河川敷等の活用
	18	(7)消防や救急・救命体制		45	(1)市民活動や行政との協働
	19	(8)防犯・交通安全対策の推進		46	(2)シティプロモーションの推進
	20	(9)消費生活に関する教育や消費者保護対策		47	(3)行政の効率化
	21	(10)就業機会の確保や働き方改革の推進		48	(4)近隣都市との広域的な連携
■ 活力とにぎわいのあるまち	22	(1)農業の振興	○ まちづくりの取組を進めるにあたっての方法		
	23	(2)水産業の振興			
	24	(3)工業の振興			
	25	(4)地場産業の振興			
	26	(5)商業・サービス業の振興			
	27	(6)観光の振興			

■ 幸福感の程度

- 設問：普段の生活の中に幸せを感じますか
- 感じる やや感じると答えた方は **8割以上**の方が回答
- 比較的若い世代では「自由な時間」や「精神的なゆとり」
30歳以上では「家計」や「家族関係」 高齢になるにつれて「健康」が重要視

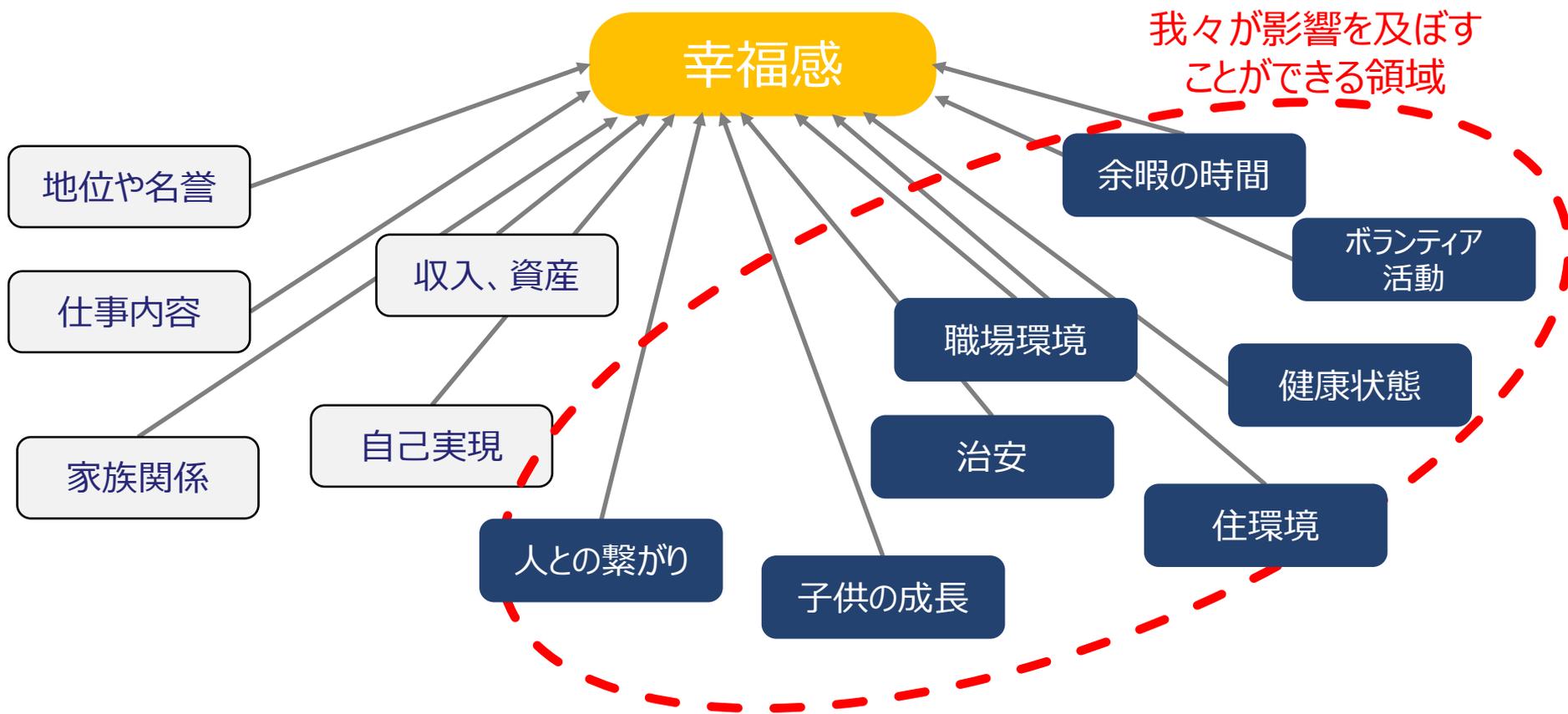


令和2年度調査



令和3年度調査

“人の幸せ”には 様々なファクターが関係しているが
我々の政策や事業によってアプローチできる領域も多く存在するはず
そこをしっかりと取り組む



■ 令和4年度市民意識調査に向けて

- 機構上の部局ごとに 1個以上の重点施策について幸福のストーリー図を作成
- 幸福のストーリー図に記載した因子ごとに、関連するWell-Being指標を抽出

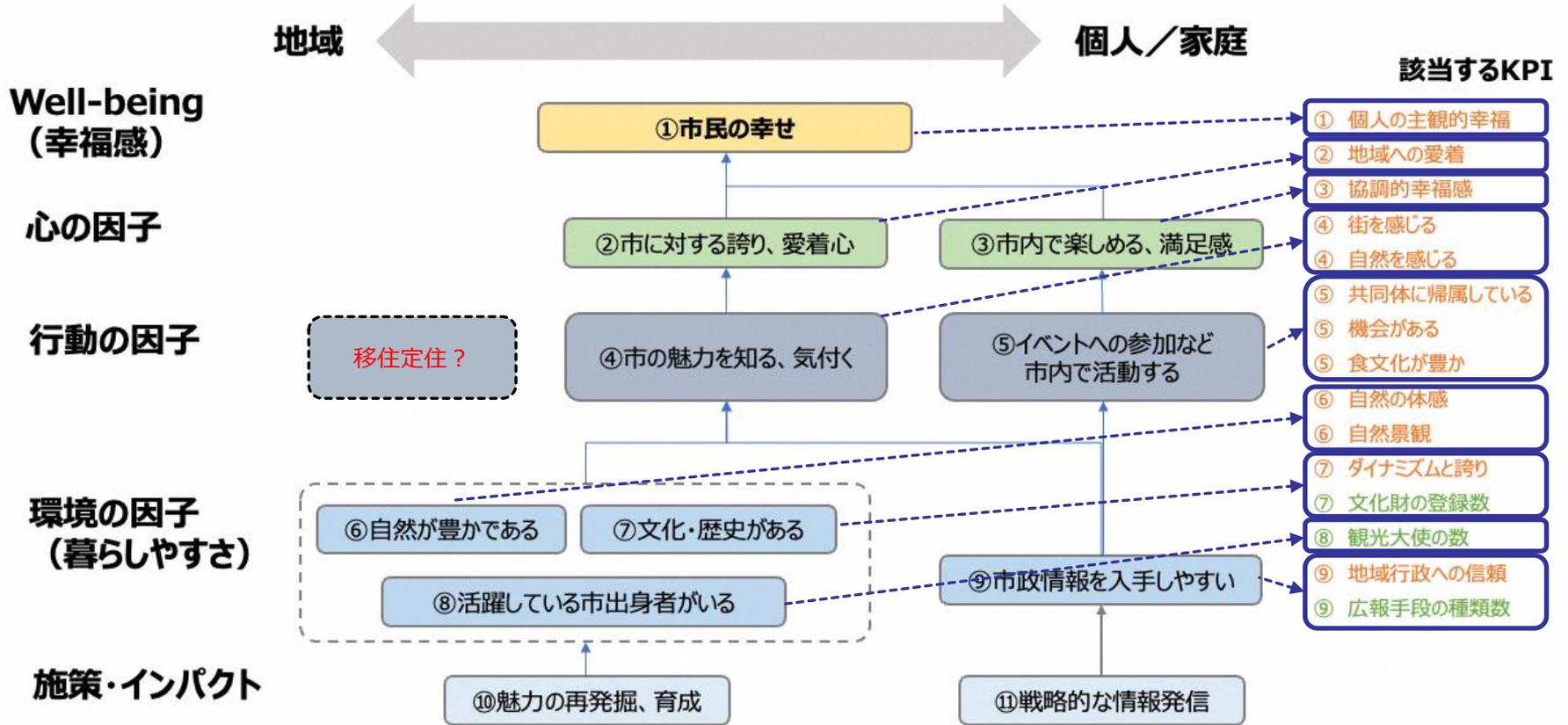
■ ストーリー図作成のポイント

- 誰の幸福感を高めるのか 対象となる人を明確にすること
 - ・ その方の心がどのような状態になれば幸福だと感じるか（心の因子）
 - ・ その心の状態になるためにはどのような行動が必要か（行動の因子）
 - ・ その行動をとるためにはどのような環境が必要か（環境の因子）
 - ・ その環境を生み出すためにどのような施策・インパクトが必要か（施策・インパクト）
- ストーリー図を「心の因子」から「施策・インパクト」に向けて作成
- ブラッシュアップを行うため 課内での意見交換を実施

市の魅力を積極的かつ効果的に活用したシティプロモーションを推進することによって、シビックプライドが醸成される

企画部

凡例 緑色：客観
 橙色：主観



- 市民意識調査の項目にWell-Being指標を取り入れることを検討
 - 各部の施策における幸福のストーリーを政策企画課職員が作成（25施策）

この図は、加古川市の25施策における「幸福のストーリー」と「Well-being指標」の対比を示しています。各施策は、市民意識調査の項目と連動し、幸福の向上に貢献する具体的な取り組みを説明しています。

幸福のストーリー (幸福のストーリー) と Well-being 指標 (Well-being 指標) の関係:

- 幸福 (Well-being):** 多角的な支援・取組により、心身ともに健康に、結婚から子育てまで、人とのつながりにより幸せを実感する、市内の公園施設の充実を図ることで、世代を超えて集い、憩うことができる空間を形成する、地域特性を生かした効果的な土地利用を図ることで、持続可能なまちづくりをめざす、消防体制の充実と地域の意識づくりで、安心して暮らせるまちに、市民の市政に対する興味・関心を高め、市民主体のまちづくりを進める、市民の市政参画を進め、一人一人が活躍できるまちをめざす、適切な農地管理を推進するとともに、農地の持続可能性を高め、シビックプライドを醸成する、教育環境の再編により、子供の豊かな感性の育み及び地域の一体感向上が期待される、協同的な学習機会の増加により、こどもの豊かな感性を磨く効果が期待される、公園広場での開催イベントの多様化により、豊かなライブジョンの実現が期待される、スマートシティ推進事業（情報通信技術等を活用した技術実証実験）
- 行動 (Action):** 市の魅力を徹底的かつ効果的に活用したプロモーションを推進することによって、シビックプライドが醸成される、時代の変化に対応できる柔軟性のある組織体制の構築や職員の能力向上を図ることによって、質の高い行政サービスが提供される、スポーツ・レクリエーション施設の増設、スポーツボランティアの増設、スポーツ・レクリエーション施設の活用促進を図ることによって、スポーツを通じて、いざいざと暮らすことができる社会が実現される、文化・芸術活動を支援することによって、文化・芸術を活用したまちづくりが進む、人権教育・啓発の推進、人権問題に対する相談体制の充実を図ることによって、互いに尊重しあって暮らせる社会が実現される、ICTを活用した安全・安心のまちづくりを推進することによって、市民生活の安全・安心が確保される、まちづくり活動の活性化を図ることによって、市民等と行政との協働によるまちづくりが進む、しごとをつくる・つなげる・支えることが、人と暮らしを豊かにし、多様な幸せを創出する、農から食、そして幸福へ、観光の振興による地元での幸福実感、クリーンなまちを作ることで街土質の向上が期待される、地域での支えあいと制度整備の両面から、住み慣れた地域でいつまでも自分らしく生き生きと暮らすことができる環境をつくる
- 施策 (Policy):** 多岐にわたる行政部門の取り組みを指し示す。

また、この図には「Well-being (幸福) の因子」に関する2つの図表が含まれています。これらは「地域」と「個人/家庭」の相互作用をモデル化しています。

Well-being (幸福) の因子 (左側):

- 幸福 (Well-being):** 生活環境としての地域の幸せ
- 行動の因子 (Action Factors):** 生活環境の改善、社会参加、生活環境の向上、生活環境の向上
- 環境の因子 (Environment Factors):** 生活環境の改善、生活環境の向上、生活環境の向上
- 施策-インパクト (Policy Impact):** 生活環境の改善、生活環境の向上、生活環境の向上

Well-being (幸福) の因子 (右側):

- 幸福 (Well-being):** 生活環境としての地域の幸せ
- 行動の因子 (Action Factors):** 生活環境の改善、社会参加、生活環境の向上、生活環境の向上
- 環境の因子 (Environment Factors):** 生活環境の改善、生活環境の向上、生活環境の向上
- 施策-インパクト (Policy Impact):** 生活環境の改善、生活環境の向上、生活環境の向上

■ Well-Being指標関連設問（抜粋）

- 設問数は108問（7ページ分）

② 「心ゆたかな暮らし」についておたずねします

問4 以下の（1）～（21）について、あなたの主観で、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○をつけてください。

	選択肢				
	非常にあてはまる	ある程度あてはまる	どちらとも言えない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
(1)暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	1	2	3	4	5
(2)暮らしている地域では、新たな発見や刺激が得られる	1	2	3	4	5
(3)暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある	1	2	3	4	5
(4)暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない	1	2	3	4	5

- ・調査したWell-Being指標の分析手法と活用策の確立
- ・ Well-Being の考え方の庁内周知
- ・各部局における幸福のストーリー図の作成とWell-Being指標を活用したストーリー図の検証
- ・さらには施策展開への活用を全部局が自分事として取り組むためのルール作り